

# 「分かりやすい多言語解説文の作成セミナー」 開催趣旨説明

---

国土交通省 観光庁 観光資源課  
地域資源活用推進室長 横田愛

# 観光立国の意義

## 成長戦略の柱

急速な成長を遂げるアジアをはじめとする世界の国際観光需要を取り込むことによって、日本の力強い経済を取り戻す。

## 地域の発展の鍵

人口減少・少子高齢化が進展する中、国内外からの交流人口の拡大や旅行消費によって地域の活力を維持し、社会を発展させる。

## 国際社会での日本のパワー

諸外国との双方向の交流を通して、国際相互理解を深め、我が国に対する信頼と共感を強化する。日本のソフトパワーの向上によって、国際社会での日本の地位を確固たるものとするために、極めて重要。

## 自らの文化・地域への誇り

観光で国を開き、外国の人々に日本文化や日本人の本質に触れて貰うことを通じて、日本人自らも、その価値を再認識し、自らの文化や地域を誇りに思う。

# 明日の日本を支える観光ビジョン 目標値と進捗状況

戦略的なビザ緩和、免税制度の拡充、出入国管理体制の充実、航空ネットワークの拡大など、**大胆な「改革」**を断行。

- ・訪日外国人旅行者数は、約3.8倍増の**3,188万人**に
  - ・訪日外国人旅行消費額は、約4.4倍増の**4.8兆円**に
- (2012年) 836万人 ⇒ (2019年) 3,188万人  
1兆846億円 ⇒ 4兆8,135億円

**観光ビジョンで掲げた目標の達成に向けては施策の一層の推進が不可欠**

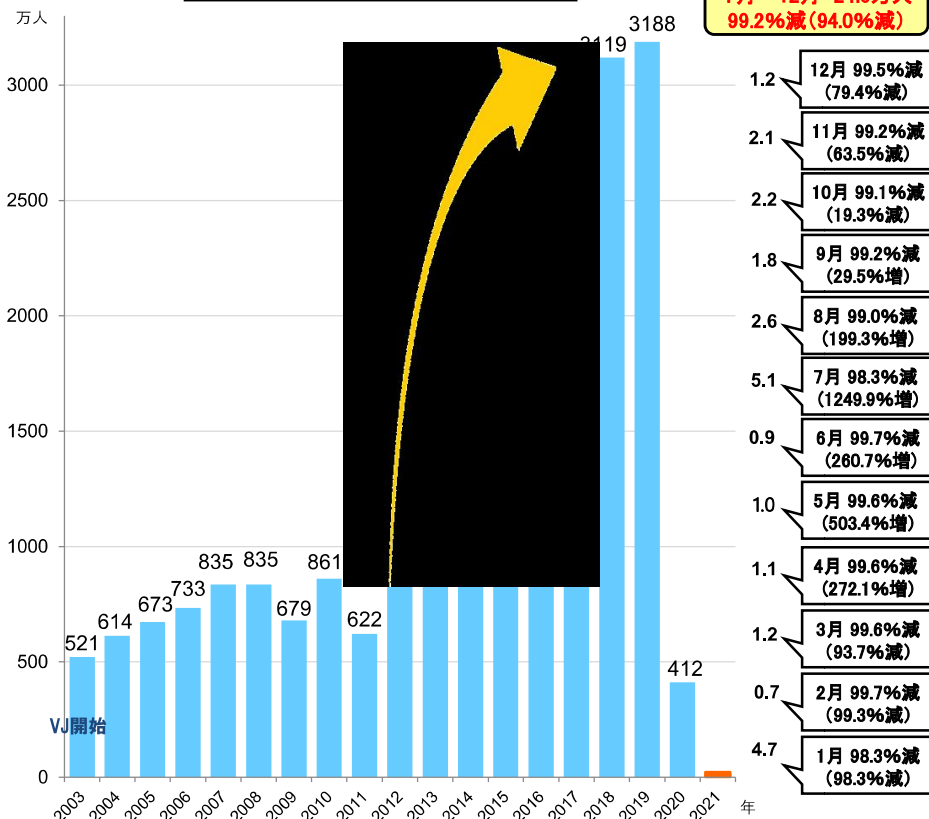
	(実績)	(目標)	参考	(目標)
訪日外国人旅行者数	2019年: <b>3,188万人</b>	2020年: <b>4,000万人</b> (達成率: <b>79%</b> )	2030年:	<b>6,000万人</b> (達成率: 53%)※
訪日外国人旅行消費額	2019年: <b>4.8兆円</b>	2020年: <b>8兆円</b> (達成率: <b>60%</b> )	2030年:	<b>15兆円</b> (達成率: 32%)※
地方部での外国人延べ宿泊者数	2019年: <b>4,309 万人泊</b>	2020年: <b>7,000万人泊</b> (達成率: <b>61%</b> )	2030年:	<b>1億3,000万人泊</b> (達成率: 33%)※
外国人リピーター数	2019年: <b>2,047万人</b>	2020年: <b>2,400万人</b> (達成率: <b>85%</b> )	2030年:	<b>3,600万人</b> (達成率: 56%)※
日本人国内旅行消費額	2019年: <b>21.9兆円</b>	2020年: <b>21兆円</b> (達成率: <b>104%</b> )	2030年:	<b>22兆円</b> (達成率: 99%)※

※ ( )内は2019年実績における2020年、2030年の各目標に対する達成率

# 訪日外国人旅行者数の推移

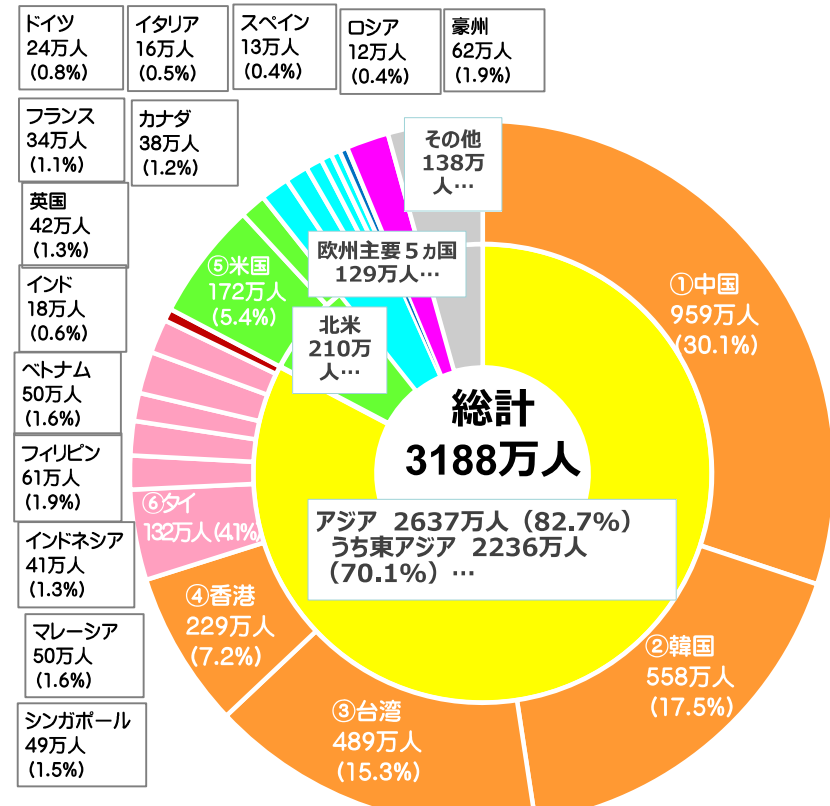
- **2021年の訪日外国人旅行者数は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、水際措置の強化が継続されたこと等により、2020年に続き、年間を通して大きく減少し、対2019年比マイナス99.2%（対前年比マイナス94.0%）の**24.6万人**となった。**
- 2019年訪日外国人旅行者数の内訳は、東アジア2,236万人、東南アジア383万人、欧米豪413万人。

訪日外国人旅行者数の推移



1月～12月 24.6万人  
99.2%減(94.0%減)

訪日外国人旅行者数の内訳 (2019年)



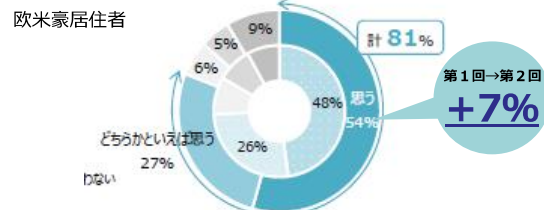
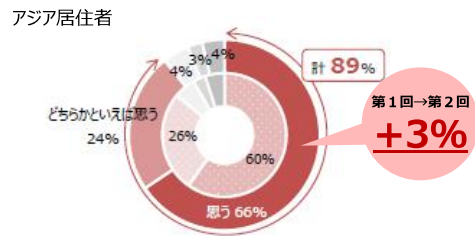
注) 2020年以前の値は確定値、2021年1月～10月の値は暫定値、2021年11月～12月の値は推計値  
 注) 2020年は、新型コロナウイルスの影響により、出入国者数が激減する等、特殊な状況となったことに鑑み、2021年の訪日外国人旅行者数は2019年を基準として比較した数字を記載。  
 %は対2019年同月比、( )内は対前年同月比 出典: 日本政府観光局(JNTO)

資料: 日本政府観光局(JNTO) 資料に基づき観光庁作成  
 注1: ( )内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア  
 注2: 「その他」には、アジア、欧州等各地域の国であっても記載のない国・地域が含まれる。

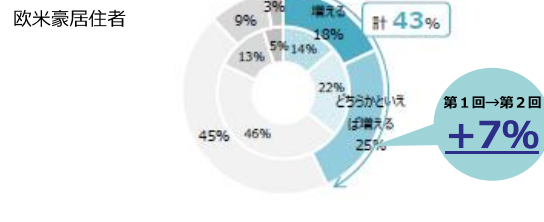
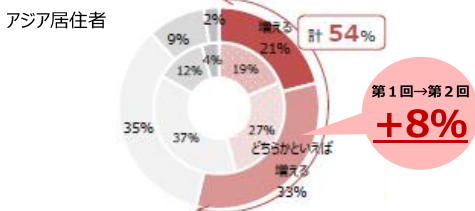
# 訪日外国人旅行者の強い訪日意向

- 新型コロナの流行が収束後に、「海外旅行に行きたい」「海外旅行にかかる予算増加」「滞在日数の増加」の意向が大幅に上昇。
- 2021年5月調査において「次に海外旅行したい国・地域」として、**日本はアジア・欧米豪居住者とも1位**に。
- 前回調査（2020年5月）から、「アジア居住者」では引き続き**1位**を維持し、割合も上昇（第1回：56%→第2回：67%）「欧米豪居住者」では**順位も割合も上昇**（第1回：2位・24%→第2回：1位・36%）。

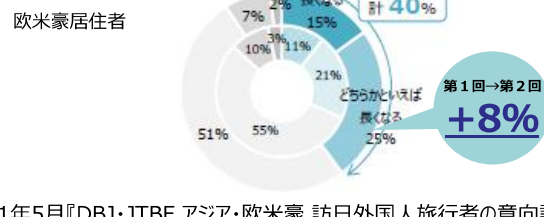
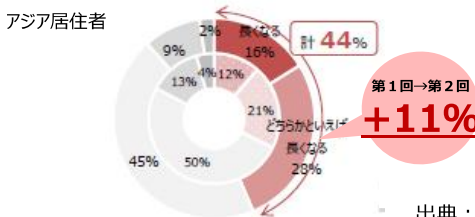
問：新型コロナの流行が収束し、平常状態に戻ったとき、また海外旅行をしたいと思うか  
(内側の円(ドット柄)は第1回調査)



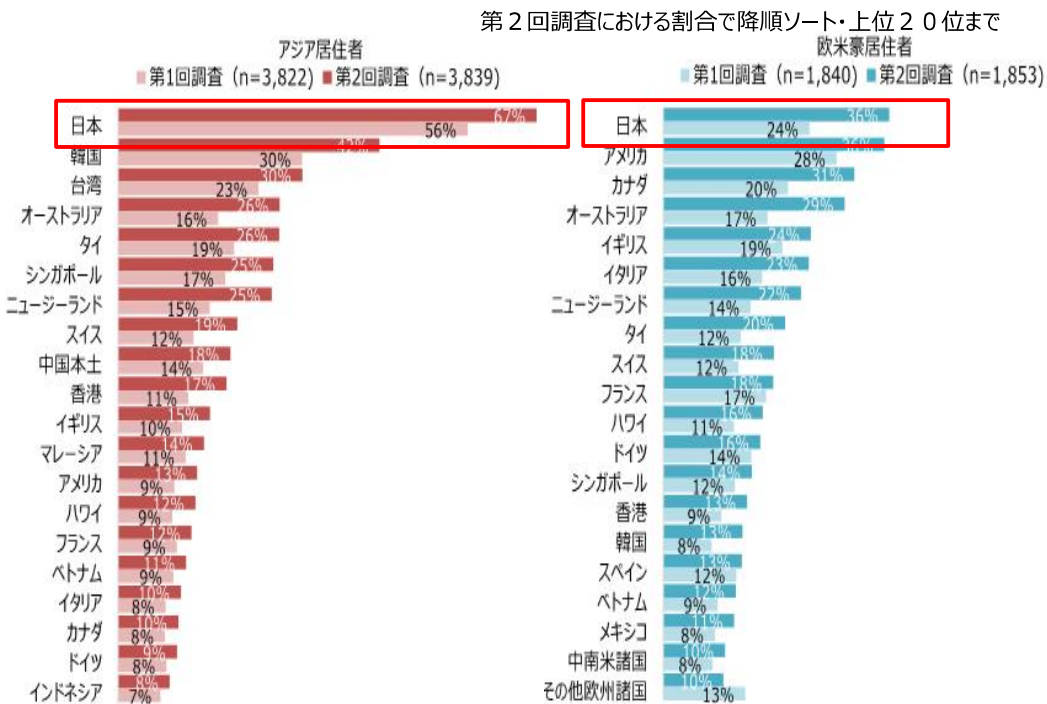
問：次の海外旅行の予算



問：次の海外旅行の滞在日数



問：次の海外旅行したい国・地域



出典：2021年5月『DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（第2回 新型コロナ影響度 特別調査）』（株）日本政策投資銀行・（公財）日本交通公社より作成

# コロナ終息後の外国人旅行者の各地域への期待

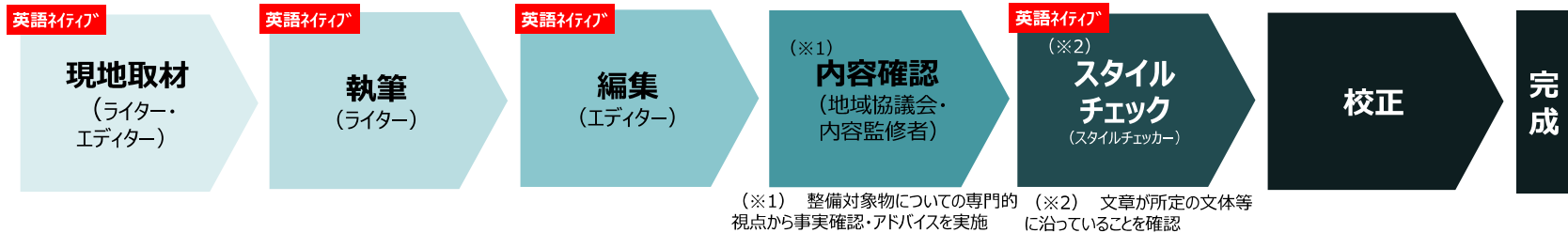
	東京(n=1,205)	北海道(n=1,079)	東北(n=362)	北陸(n=324)	中部(n=451) <small>(3つまで選択)</small>
1位	衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続	衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続	衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続	衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続	衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続
2位	リーズナブルな宿泊施設の拡充	自然体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ	観光地や観光施設へのアクセス改善	観光地やレストラン、宿泊施設などでの英語・多言語による案内・表示のブラッシュアップ	リーズナブルな宿泊施設の拡充
3位	リーズナブルな日本食レストランの充実	リーズナブルな日本食レストランの充実	文化体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ	観光地や観光施設へのアクセス改善	文化体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ
4位	混雑を回避するための事前予約や入場制限などの措置	リーズナブルな宿泊施設の拡充	リーズナブルな宿泊施設の拡充	リーズナブルな日本食レストランの充実	リーズナブルな日本食レストランの充実
5位	観光地や観光施設へのアクセス改善	観光地やレストラン、宿泊施設などでの英語・多言語による案内・表示のブラッシュアップ	リーズナブルな日本食レストランの充実	リーズナブルな宿泊施設の拡充	自然体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ
	関西(n=945)	中国(n=376)	四国(n=340)	九州(n=668)	沖縄(n=629)
1位	衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続	衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続	衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続	衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続	衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続
2位	リーズナブルな日本食レストランの充実	文化体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ	自然体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ	文化体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ	文化体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ
3位	文化体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ	リーズナブルな日本食レストランの充実	文化体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ	リーズナブルな日本食レストランの充実	リーズナブルな日本食レストランの充実
4位	リーズナブルな宿泊施設の拡充	リーズナブルな宿泊施設の拡充	リーズナブルな宿泊施設の拡充	観光地やレストラン、宿泊施設などでの英語・多言語による案内・表示のブラッシュアップ	自然体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ
5位	観光地やレストラン、宿泊施設などでの英語・多言語による案内・表示のブラッシュアップ	観光地やレストラン、宿泊施設などでの英語・多言語による案内・表示のブラッシュアップ	リーズナブルな日本食レストランの充実	リーズナブルな宿泊施設の拡充	リーズナブルな宿泊施設の拡充

出典：2021年7月『海外富裕層の訪日旅行市場とwith/afterコロナの四国における可能性～知的好奇心と消費ポテンシャルの高い本物志向のインバウンド誘致に向けて～』（株）日本政策投資銀行四国支店より作成

# 地域観光資源の多言語解説整備支援事業

- 観光庁は、①文化庁・環境省と連携して、分かりやすく魅力的な多言語解説文を作成できる**英語のネイティブライター等の専門人材をリスト化**し、②**地域に派遣し解説文の作成**を支援。③解説文作成のノウハウを蓄積し、他地域へ横展開できるように**ガイドライン等を作成し公表**。（平成30年度から事業開始。令和3年度までに作成した英語解説文数は7,521解説文。）
- 多くの訪日外国人旅行者が解説文を読んでいるが、「必要とする情報が載っていない」、「内容が難しすぎる」、「英語表現が不自然」と感じるといった課題が存在。よって、日本語原稿を単純に翻訳するのではなく**外国人目線での解説文作成を推進するため、ネイティブライター等の専門人材を活用**。
- また、本事業で作成している英語解説文を元にした**中国語解説文作成**も併せて実施。

## 英語解説文作成フロー

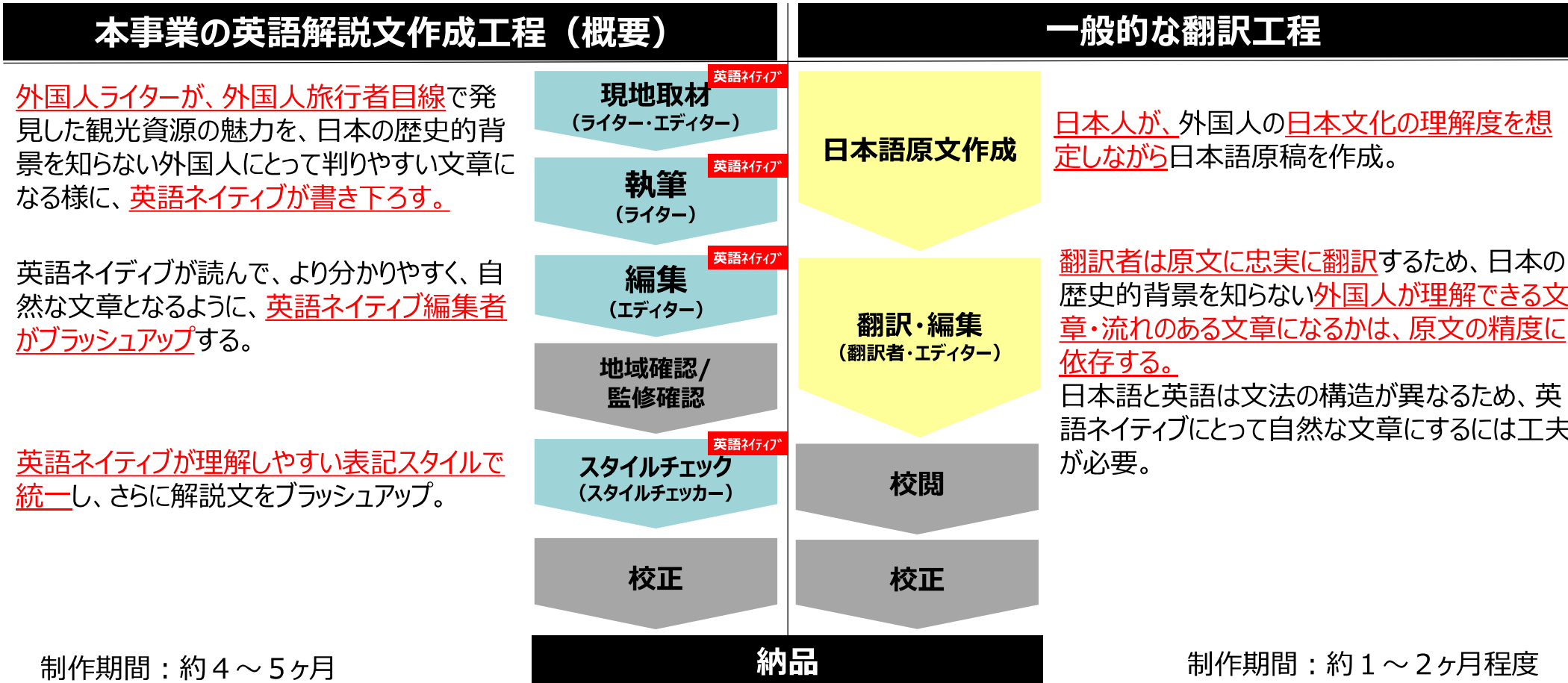


## 多言語解説文の活用事例



# 本事業の工程と翻訳工程との違い

翻訳ではなく、「外国人目線」を盛り込み、英語ネイティブにとって自然な文章を作成するためには特別な工夫が必要。





# 「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」の成果物について

平成30（2018）年度からの本事業で蓄積した成果物等を観光庁HPにて公表。  
令和3年度の事業成果は4月に公開予定。

英語：<http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/multilingual-kaisetsu.html>

## ➤ 成果物一覧について

### 1. HowTo多言語解説文整備

多言語解説文整備を行う予定の観光資源の所有者や管理者および多言語解説文を作成しようとしている者が、どのような点に考慮・配慮し、どのように作成を進めていくと、訪日外国人旅行者の興味・関心を引き、且つ、わかりやすい多言語解説ができるかを示すガイドライン。



▲「HowTo多言語解説文整備」

### 2. ライティング・スタイルマニュアル（日本語版・英語版）

多言語解説文の執筆者（ライター、エディター等）が作成を進めていく際に、参考とするスタイルに特化したマニュアル。訪日外国人旅行者をターゲットに「この言葉では伝わっていない可能性がある」または「このように伝えることがわかりやすい」という視点で、理由と具体例を用いて説明。



▲「ライティング・スタイルマニュアル」

### 3. 【概要】魅力的な多言語解説文作成について | 観光庁（観光庁YouTubeチャンネルで公開中）

**「HowTo多言語解説文整備」の内容をわかりやすく映像化し、実際本事業に関わった地域協議会や専門人材のインタビューを交えながら、ドキュメンタリー形式で紹介した動画コンテンツ。**



▲動画「【概要】魅力的な多言語解説文作成について | 観光庁」

### 4. 用語集（日本語・英語併記）

解説文作成を進めていく上で、参考とする専門用語辞典

### 5. 解説文事例集（日本語・英語併記）

本事業において制作された解説文全点を掲載したアーカイブ。

# 「地域観光資源の中国語解説整備支援事業」の成果物について

## 中国語解説文作成のポイント

- 過年度に本事業で作成した英語解説文を対象に、英語解説文の中国語翻訳を基本として実施。
- 欧米豪など英語圏旅行者とは異なる中国語圏旅行者特有の訴求ポイント（興味関心事項）を抽出・分析し、訴求ポイントを盛り込んだ中国語解説文作成を作成。
- 中国語解説文として作成する言語は簡体字、台湾繁体字。

令和2（2020）年度からの本事業で蓄積した成果物等を観光庁HPにて公表。

令和3年度の事業成果は4月に公開予定。

中国語：[https://www.mlit.go.jp/kankocho/page05\\_000144.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/page05_000144.html)

## ➤ 成果物一覧について

### 1. 魅力的な中国語解説作成指針

中国語解説整備を行おうとしている観光資源の所有者や管理者等が、どのような点に考慮・配慮し、どのように作成を進めていくと、中国語圏旅行者の興味・関心を惹き、且つ分かりやすい中国語解説ができるかを示すガイドライン。



▲「魅力的な中国語解説作成指針」

### 2. ライティング・スタイルマニュアル（日本語版・簡体字版・台湾繁体字版）

中国語解説文を作成する事業者（翻訳者、編集者等）が作成を進めていく際に、参考とするスタイルに特化したマニュアル。一般的なマニュアルやガイドラインとは異なり、「これが正しい」を示すのではなく、中国語圏旅行者をターゲットに「この言葉では伝わっていない可能性がある」または「このように伝えたほうが分かりやすい」という視点で、理由と具体例を用いて説明。なお、本マニュアルは簡体字と台湾繁体字の2タイプを作成。



▲「ライティング・スタイルマニュアル」

### 3. 用語集（日本語・簡体字・台湾繁体字併記） 4. 解説文事例集（日本語・簡体字・台湾繁体字併記）

解説文作成を進めていく上で、参考となる専門用語辞典

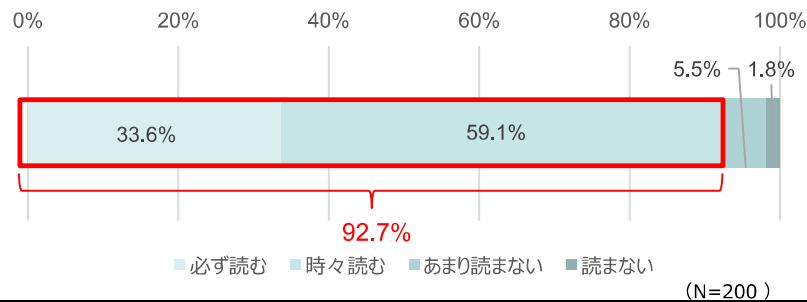
本事業において制作された解説文全点を掲載したアーカイブ

# 多言語解説文作成における課題

観光地において、**訪日外国人旅行者の9割超えが解説文を読んでおり、観光資源の魅力を伝える上で、解説文が重要な役割を担っている。**

しかし、既存の解説文対して、**「必要とする情報が載っていない」「内容が難しすぎる」「英語表現がおかしくて読む気にならない」と感じる**者もあり、既存の解説文には、訪日外国人旅行者に対する配慮不足の面や、技術不足の面が見られ、訪日外国人旅行者にとって、わかりにくく、必ずしも魅力的であるとは言えない課題がある。

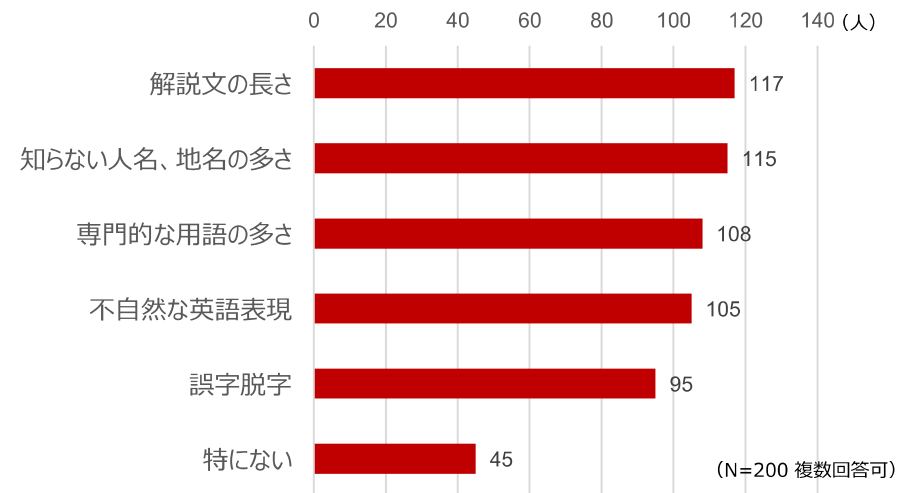
【参考1】訪日外国人旅行者が観光地に行った際、解説文を読む頻度



【参考2】参考1の「あまり読まない」「読まない」を選択した人の理由

- ✓ 内容が難しすぎる
- ✓ 英語の表現がおかしくて読む気にならない
- ✓ 必要とする情報が載っていない
- ✓ 時間がない
- ✓ 英語の解説文がない

【参考3】訪日外国人旅行者が解説文を読む際、特に気になる点



(出展：観光庁地域観光資源の多言語解説整備支援事業「平成30年度事前調査」より)

# 解説文作成のポイント

「HOW TO 多言語解説文整備（令和3年3月版）」より

1. 日本人と外国人旅行者の間にある、日本文化等についての知識や認識の違いを理解すること
2. 訪日外国人旅行者の興味・関心を把握すること
3. 媒体の種類（ウェブサイト、看板等）と特徴を踏まえた内容・文体にすること
4. 品質の高い解説文作成のための専門人材を確保すること



これらを実現するため、**表記等のルール**（『ライティング・スタイルマニュアル』）に則り、**英語ネイティブのライターが現地取材で得た外国人目線を取り入れて英文を書きおろし、英語ネイティブの編集者がブラッシュアップが重要**

日本語原稿をそのまま翻訳するだけでは外国人旅行者の高い満足度は得られない

# 多言語解説文作成における重要なポイント①

## ➤ 日本人と外国人旅行者の間にある、日本文化等についての知識や認識の違いについて

日本の歴史や文化についての背景的な知識を持っている日本人にとって容易に理解できる情報が、訪日外国人旅行者にとっても自然に理解できるとは限らない。

観光資源に関する情報を、外国人の立場に立って見直し編集するとともに、外国人旅行者にとって不足する情報を適切な形に整えて付加することが必須。

日本人にとって当たり前の文化、習慣、情報等が盛り込まれた日本人向けの解説文を、そのまま英語に翻訳（すなわち直訳）するだけでは、意が伝わらない可能性がある。

### 具体的な例

- ✓ 社寺等の歴史や宗教が関連する内容は、専門的な内容を含む解説となり、外国人旅行者にとって難解かつ長文になる傾向がある。
- ✓ 城郭は専門用語や城郭特有の表現が多く、外国人旅行者が理解できる情報が不足しやすい。
- ✓ 日本人にとって著名な歴史上の人物・出来事について、外国人旅行者が興味を持つとは限らない。
- ✓ 登山道や登山の注意事項や利用情報は、日本人にとっては当たり前で簡単な説明で済む情報でも、登山文化が異なる外国人旅行者に同様の理解を得るためには、背景等を含めた詳しい解説文が必要。（登山のマナー、日本山岳特有の気象など）

# 多言語解説整備における重要なポイント②

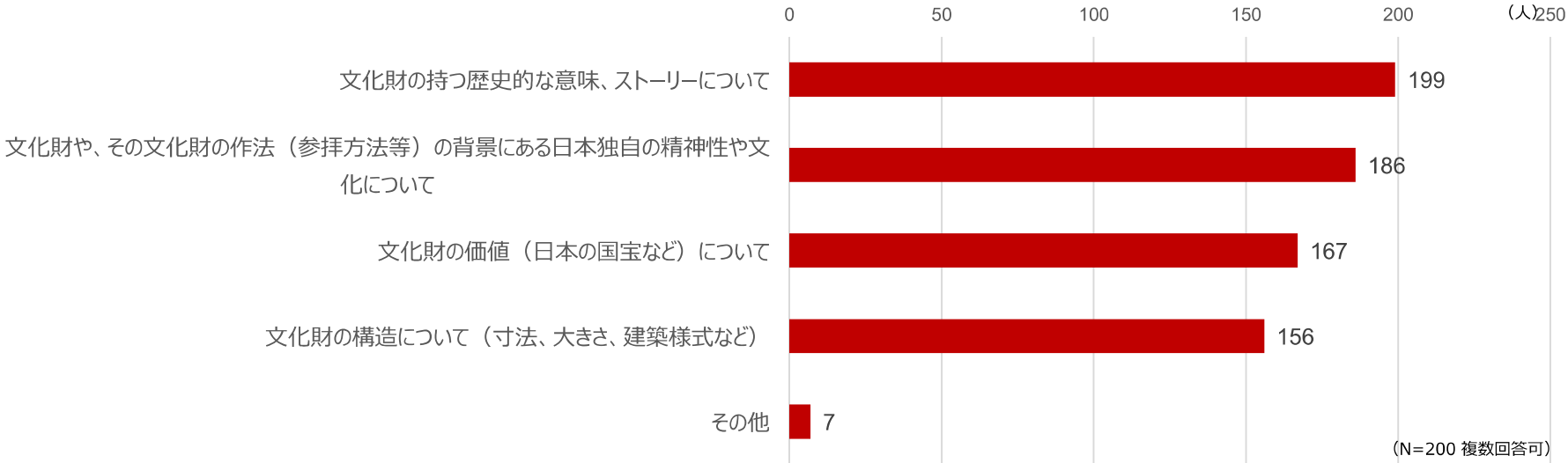
## ➤ 訪日外国人旅行者の興味・関心の把握

観光資源におけるどのような特徴が訪日外国人旅行者の興味・関心の対象になるのかをよく理解し、それぞれの地域目線ではなく、旅行者の興味を増進するような解説を制作することこそが、読み手によって本当に役立ち、魅力のある情報提供となる。

**【参考4】**訪日外国人旅行者を対象に、各地域を訪問した際に、知りたいと思う情報がどのようなものを尋ねた。

文化財に係る  
解説文

- ✓ 文化財の持つ歴史的な意味やストーリー
- ✓ 文化財やその作法（参拝方法）等の背景にある日本独自の精神性や文化などの情報
- ✓ 文化財の価値（日本の国宝である等）



(出展：観光庁地域観光資源の多言語解説整備支援事業「平成30年度事前調査」より)

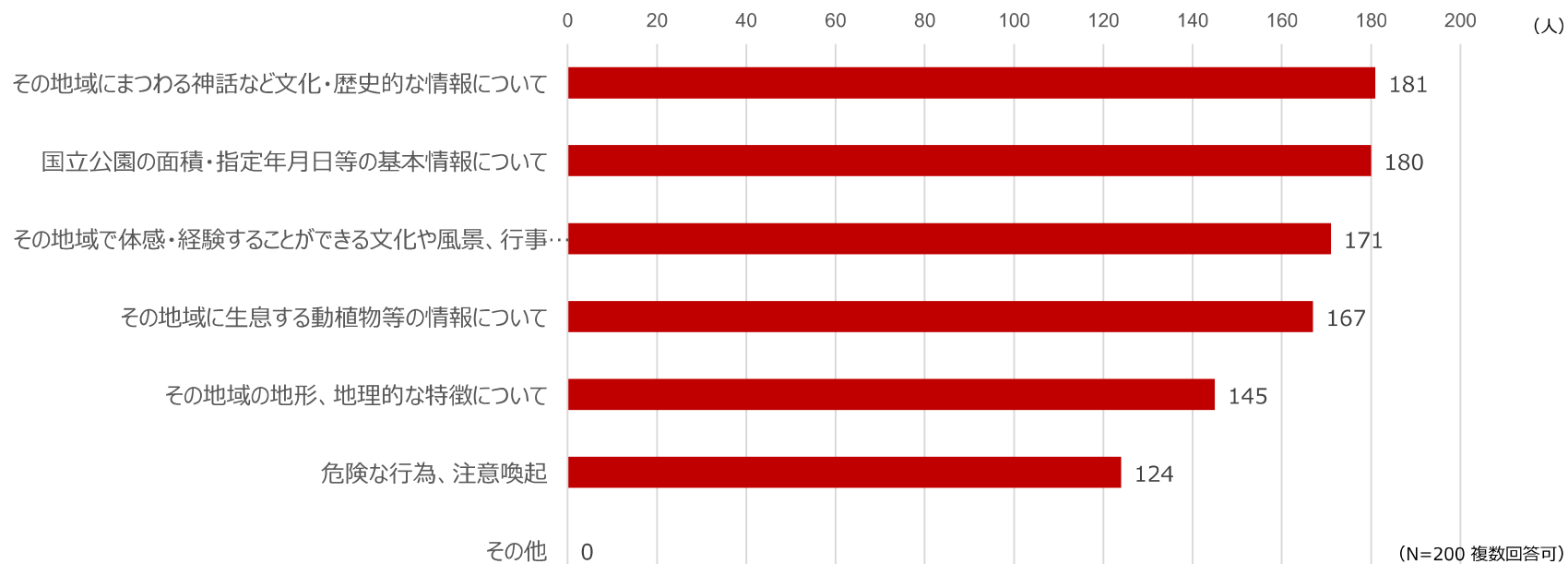
# 多言語解説整備にける重要なポイント③

## ➤ 訪日外国人旅行者の興味・関心の把握

【参考5】訪日外国人旅行者を対象に、各地域を訪問した際に、知りたいと思う情報がどのようなものを尋ねた。

自然に関する  
解説文

- ✓ その地域にまつわる神話など、歴史的な情報
- ✓ 国立公園の面積・指定年月日等の基本情報
- ✓ その地域で体感・体感することのできる文化や風景、行事といった地域にまつわる情報
- ✓ その地域に生息する動植物等の情報



(出展：観光庁地域観光資源の多言語解説整備支援事業「平成30年度事前調査」より)

# 多言語解説整備における重要なポイント④

## ➤ 媒体の種類と特徴

解説文を記載する媒体の用途、およびその長所と短所を理解し、媒体に応じた書き方をする必要があります。**同じ整備対象物であっても、想定する媒体によって、体裁やレイアウトは異なり、解説文の内容の取捨選択が必要**です。

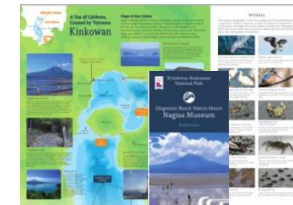
ウェブサイト

- ✓ 来訪前に広い範囲の情報を提供
- ✓ 現地の解説看板に足りない情報をQRコード等でリンクし、補足
- ✓ 251～500ワードを目安に。



パンフレット

- ✓ 現地の解説看板では足りない情報を行うことが可能
- ✓ 各言語の読み手に合わせてレイアウトを変えることが望ましい
- ✓ 251～500ワードを目安に。



解説看板

- ✓ 目の前の観光資源について情報を提供する。
- ✓ 100～250ワードを目安に。（これ以上長いと、看板前で旅行者が滞留する恐れあり）



※英語 1 ワード = 日本語 2 文字程度

音声ガイド

- ✓ 限られた時間に耳で聞くことを意識して、情報を詰め込みすぎない。
- ✓ 簡単な語彙と分かりやすい表現、書き言葉でなく話し言葉で書く。





# 多言語解説整備における重要なポイント⑤

## ➤ 品質の高い解説文作成のための専門人材の確保

訪日外国人旅行者にとって満足度の高い解説文とは、**旅行者が求める情報を英文のスタイルに沿って適切にライティングすることが必要**です。そのため執筆に必要な情報は、現地取材や日本語文献、聞き取り等により情報を収集し、補完することが必要です。

(参考) 観光庁「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」における専門人材の役割・要件

### ライター (執筆者)

- ✓ 英語を母国語とする人材
- ✓ 日頃から決められたライティング・スタイルマニュアルに則った、外国人向けに英語の執筆経験が豊富な人材
- ✓ 訪日外国人旅行者の興味関心等を把握している人材
- ✓ (特に文化財分野の場合は、日本語資料について閱讀できる人材が望ましい)

### エディター (編集者)

- ✓ 英語を母国語とする人材
- ✓ ライターが書き下ろした解説文を、内容の正誤等を確認しながらより読み手に分かりやすい解説文に磨き上げを行うことができる人材
- ✓ (特に文化財分野の場合は、日本語資料について閱讀できる人材が望ましい)

### 内容監修者

- ✓ 英語で書かれた解説文を英語でファクトチェックできること
- ✓ 整備対象物に合わせて専門性を持ち、地域に詳しい人が望ましい

### ディレクター

地域と制作側の  
連絡調整を行う  
人材

### 校閲者 (スタイル チェッカー)

原稿が執筆のルール（『スタイルマニュアル』）通りに執筆されているかを確認する人材

### 校正者

納品前に誤字脱字や修正漏れがないか最終確認を行う人材